

平成24年2月議会概要

- 期日 平成24年3月1日(木)
- 質疑及び答弁の概要 「本市の教育のあり方について」

会派	質疑	答弁
自由民主党 香月 耕治 議員	<p><b>【議員】</b></p> <p>本市では、「元気発進！北九州」プランにおいて、子育て・教育日本一を掲げて、子育て支援や教育行政に積極的に取り組む姿勢を示しています。</p> <p>全国学力・学習状況調査や全国体力・運動能力調査の結果も全国平均を下回つており、教育日本一というには遠い道のりだと思うわけですが、高い目標を掲げて以上、より一層積極的に取り組んでもらいたいと思います。</p> <p>教育委員会では平成21年11月に「子どもの未来をひらく教育プラン」を策定し、「教育日本一を実感できる環境づくり」を基本方針に、各種の施策に取り組んでいます。</p> <p>私は、教育の、原点は德育であり、道徳教育であると思っています。もちろん、知育、体育も重要だが、人づくりの基本として、まずは人としてのあり方、つまり礼儀、しつけ、マナーなどを小さい時からしっかりと身につけることこそ、子どもたちの成長のためには大切なことだと思います。</p> <p>「教育の品川」といわれている東京都品川区では、道徳教育について、以前は教科書も指導書もありませんでした。多くの先生は分らないままに自己流で授業をしていた。こうしたことを、一からやり直そうと、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、それぞれの目的や関係性を明確に統合し、新教科としての「市民科」を立ち上げ積極的な取組をしています。</p> <p>私は、ここ6年間、地元の年長者と共に星ヶ丘小学校において、毎朝あいさつ運動に取り組んでいます。最初は、あいさつが出来ない子どももいましたが、根気良く「おはよう」と声を掛けていくうちに、子どもたちから「おはようございます」と声を掛けてくれるようになり、今では笑顔で握手とあいさつをしています。</p>	<p><b>【教育長】</b></p> <p>まず本市の道徳教育に関するお尋ねにお答えをします。</p> <p>本市における道徳教育は、教育基本法等の改正と、学習指導要領の改訂を踏まえ、自他の生命の尊重、公共の精神や規範意識、伝統と文化の尊重など心を涵養する道徳教育の一層の充実・改善に取り組んでおります。</p> <p>とりわけ、各学校では、道徳の時間を要とし、各教科、特別活動、総合的な学習の時間などとの関連を大切にし、礼儀やあいさつの指導に努めるなど、学校の教育活動全体を通して、道徳的実践意欲や態度を育てる教育の充実を図っております。</p> <p>また、道徳教育充実のために、小中学校に「北九州スタンダードカリキュラム」を作成・配布し、望ましい道徳の時間の指導の在り方や授業における改善点、他の教育活動との関連などについて各学校に示しております。</p> <p>今年度は、さらに、郷土の伝統文化等を題材とした「北九州道徳郷土資料」を作成し、現在、各小中学校での活用を図っております。</p> <p>議員ご指摘の通り、人づくりの基本である礼儀、マナーなどを、小さいときから身に付けることは大切であると考えております。</p> <p>今後とも、「あいさつできる子ども日本一」を目指して、あいさつや清掃活動など、家庭や地域と連携して取り組み、礼儀や奉仕する態度を養ったり、伝統文化体験などを通し、郷土への愛着や自尊感情を高めるなど、道徳教育のさらなる充実を図り、人間としてよりよく生きたいという願いや、よりよい生き方を求め実践する児童生徒を育成してまいりたいと、このように考えております。</p>

(つづく)

## 平成24年2月議会概要

- 期 日 平成24年3月1日(木)
- 質疑及び答弁の概要 「本市の教育のあり方について」

会 派	質 疑	答 弁
自由民主党 香月 耕治 議員	<p>【議 員】</p> <p>【要望】</p> <p>道徳教育でありますけど、東京都の品川区が行っておりますような本格的な道徳教育、そういう取組をですね、ぜひしていただいて、今、北九州は取り組んでおりますが、なかなかその実をあげていないといいますか、教育に関して、なかなかレベルがきていない気がしますので、ぜひ、道徳教育の充実をさらに図っていくような努力をしていただきたいと思います。要望でございます。</p>	<p>【教育長】</p>

平成24年2月議会概要

- 期日 平成24年3月1日(木)
- 質疑及び答弁の概要 「本市の教育のあり方について」

会派	質 疑	答 弁
自由民主党 香月 耕治 議員	<p>【議員】</p> <p>本市では、「あいさつのできる子ども日本一」を実現すべく、平成22年度から星ヶ丘小学校を含む幼稚園、小学校、中学校において、NPO法人マナーキッズプロジェクトの協力の下で、小笠原礼法の総師範による講演とテニス教室を組み込んだあいさつ実践活動にモデル的に取り組んでいます。</p> <p>授業を受けた子どもたちの感想は、「日本人の素晴らしいところを知り、日本人でよかったと思う」「挨拶にどんな意味があるのかなど、良くわかった。これから気持ちを込めてあいさつをしていきたいと思います」などの声が寄せられないと聞いています。</p> <p>しかし、一方で、「1年ぶりのマナーキッズプロジェクトで、その時は素晴らしいと思ったが、すっかり忘れていた」との正直な声もあり、継続的な取り組みが行われていないことに大変残念に思っています。</p> <p>何事も継続することが大切であり、せっかくの機会を、年1回だけのイベントにしてはなりません。こんなことでは、「あいさつのできる子ども日本一」の実現は夢のまた夢です。</p> <p>小笠原礼法にゆかりのある本市として、マナーキッズプログラムを活用し、あいさつ運動をより充実させ、元気で思いやりがあり、逞しい子どもたちを育てなくてはなりません。</p> <p>そこで、3点お尋ねします。</p> <p>第1に、東京都品川区では、「市民科」を立ち上げ、道徳教育の充実を図っています。本市の道徳教育の現状と、めざすべき道徳教育について、お尋ねします。</p>	<p>【教育長】</p>

(つづく)

平成24年2月議会概要

- 期日 平成24年3月1日(木)
- 質疑及び答弁の概要 「本市の教育のあり方について」

会派	質 疑	答 弁
自由民主党 香月 耕治 議員	<p><b>【議員】</b></p> <p>第二に、「あいさつできる子ども日本一」の実現に向けて、教育委員会が校長や教員をしつかり指導し、継続的かつ辛抱強い取り組みが必要であると思いますが、見解をお尋ねいたします。</p> <p>第三に、マナーキッズプロジェクトを採用して何を実現しようとしているのか、その成果と今後の取り組みについて、見解をお尋ねしいたします。</p>	<p><b>【教育長】</b></p> <p>次に、「あいさつできる子ども日本一」とマナーキッズプロジェクトに関するお尋ねにお答えをします。</p> <p>「あいさつ」は、コミュニケーション能力の基本であり、必要不可欠な基本的生活習慣でございます。また、子どもたちの自尊感情を高める上で極めて重要と考えております。</p> <p>このため、新しい教育プランでは、学校、家庭、地域が総がかりで取り組む4つの重点取組みの一つに「あいさつできる子ども日本一」を位置づけ、積極的にあいさつ運動に取り組んでおります。</p> <p>具体的には、あいさつ運動の「のぼり旗」を全校に配布したり、特色あるあいさつ運動に取り組んでいる学校、計21校を「あいさつ運動推進実践校」に指定し、その活動を支援するとともに、全市的な取組みとなるよう、ご紹介ありました星ヶ丘小学校等の活動事例をホームページや出前講演などで広く広報・周知をしております。</p> <p>また、学校が独自に企画・立案する特色ある教育活動に対して重点的に予算を配分する「未来をひらく学校づくり支援事業」を活用するなど、あいさつ運動を支援してまいりました。</p> <p>その結果、全ての学校であいさつ運動に取り組んでいただいており、中には、あいさつ名人の表彰や、清掃活動と組み合わせた運動、また、スクールヘルパーや保護者、地域住民を巻き込んだ取組みを行っている学校もございます。</p> <p>一方で、あいさつ指導を効果的に進めるために、「新規採用教員への礼儀作法、あいさつ等の研修の継続実施」、「全ての小中学校においてあいさつの取組みを学校評価に取り入れ、家庭・地域を巻き込んだあいさつ運動を展開するよう、校長総会や研修等の場において働きかけを行う」など、あいさつ運動が学校全体(つづく)</p>

平成24年2月議会概要

- 期日 平成24年3月1日(木)
- 質疑及び答弁の概要 「本市の教育のあり方について」

会派	質疑	答弁
自由民主党 香月 耕治 議員	【議員】	<p>【教育長】          で組織的かつ継続的に進められるよう取り組んでおります。          また、お尋ねのマナーキッズプロジェクトにつきましては、平成19年度に小学校3校、平成22年度には9校・園、また、平成23年度には10校・園へと拡大して実施をしております。</p> <p>その効果としては、受講した子どもたちからは、「正しい礼儀作法で相手に接することで、心遣いや思いやりが伝わる。」「常日頃から正しいマナーを実践し、自然に身につくようにしたい。」などの感想が寄せられております。</p> <p>教育委員会としては、このマナーキッズプロジェクトは、「あいさつできる子ども日本一」に向けて有意義な取組みであると考えておりますけども、「あいさつについては、既に各学校が特色ある活動を展開していること」、「講師謝礼や旅費等に経費がかかること」、また、「NPO法人として、実施ができる学校数に限界があること」など、全ての学校で実施するにはまだまだ課題がありますが、各学校に広く紹介するなどして、希望する学校があれば支援していきたいと考えております。</p> <p>あいさつ日本一の実現には、息の長い取組みが必要であります。</p> <p>教育委員会としては、マナーキッズプロジェクトをはじめ各学校の取組みを引き続き支援するとともに、あいさつ運動が学校、家庭、地域総がかりで取り組む活動に広がっていくよう今後とも積極的に取り組んでまいりたいと、このように考えております。以上でございます。</p>